

暴走車阻止 強力バリケード

札幌のトライ・ユーと白石ゴム開発

凍結路面でも滑りにくく

警備用品製造のトライ・ユー（札幌）と、ゴム製品製造の白石ゴム製作所（同）は暴走車の突入を止められるバリケードを開発し、5月から販売とレンタルを始めた。各地で車を使ったテロや暴走事故が頻発する中、警察や警備会社への納入を目指す。

バリケードはイベントや道路工事の警備で使われるが、両社の開発に協力した道立総合研究機構工業試験場によると「既存製品には車を阻止できる強度がない」という。暴走車に飛ばされたバリケードが被害を拡大させかねないことも課題となっており、警備関係者からトライ・ユーに車の突入を防げる新製品開発の相談が寄せられていた。

新製品は鉄柵で、幅1・8メートル（1台80万円）と幅1メートル（同50万円）の2種類。柵の手前の地面と接する部分に滑り止めのゴムシートを貼った鉄の板が突き出ており、車が乗り上げると摩擦で前へ進めなくなる。柵の接地部分にスパイクを付けることができ、冬場の凍結路面でも滑りにくくなる。昨年11月と今年2月に行った実験では車を時速50〜60キロで衝突させ、衝突後も加速させ続けたが車は停止したという。

6月に札幌で開かれるYOSAKOIソーラン祭りの警備に貸し出すほか、警備会社や道路管理者から既に購入の引き合いがある。トライ・ユーの上杉章社長は「人が密集している場所での惨事を防ぎたい」と話している。（生田憲）



衝突試験で車の進入を阻止したバリケード。昨年11月